

# 令和6年度千葉県介護支援専門員研修事業 専門研修課程Ⅱ・更新研修後期 開催案内

オンライン<sup>オーイチ</sup> (O1) コース・<sup>オーニ</sup> (O2) コース・<sup>エスイチ</sup> 参集 (S1) コース

本研修は、厚生労働省が定める「介護支援専門員専門研修実施要綱」に基づいて実施します。

## はじめに

- 令和6年度の**募集は今回のみ**です。
- 本研修は介護支援専門員証の満了日が**令和7年12月31日までの方を対象**とします。それ以降の方については次年度以降の申込対象者になります。
- オンラインは2コース（O1、O2コース）、参集は1コース（S1コース）で実施します。  
※各コースの定員はP.1参照。定員を超過した場合は有効期間満了日を考慮し、次回以降の受講をお願いすることがあることをご了承願います。
- 介護支援専門員の法定研修に係るガイドラインが見直されたことを受け、**令和6年度から新カリキュラム**で実施いたします。これに伴い、研修内容等が変更になり、演習プログラムや使用する様式等についても現在調整中です。詳細は受講決定後にお知らせします。
- 本研修の実施にあたっては、講義部分を動画配信（eラーニング）、オンタイム前後には個人学習（事前・事後課題）を導入しています。事務局との資料等の共有などは両コース（オンライン、参集）とも、オンライン上で行います。詳細は**7.受講での注意事項**を参照してください。
- 国においても「介護支援専門員研修等オンライン化事業」を推進していることから、介護支援専門員の各研修は今後もオンライン（Zoom機能を使用）での実施を基本として行われます。受講環境の確保にご理解、ご協力をお願いいたします。
- 令和6年度専門研修課程Ⅰ・更新研修前期（O1, S1コース）受講者は、本研修申込書（2枚目の5.）に必要事項を☑記載することで「**修了見込み**」として申込を可とします。（ただし、当該研修を修了できない場合、本研修の受講はできません）。

\*更新研修後期（2回目以降の更新）は「特定一般教育訓練」の講座指定を受けています（**14.その他参照**）。更新研修後期（初回の更新）、専門研修課程Ⅱは対象外です。

## 「初回更新」と「2回目以降の更新」の考え方

### ○初回更新の方

- ・介護支援専門員資格取得後、介護支援専門員証を**一度も更新していない方**です。

### ○2回目以降の更新の方

- ・介護支援専門員資格取得後、**専門研修課程Ⅰ・Ⅱまたは実務経験者対象の更新研修を受講修了して、介護支援専門員証を更新した方であって、その後も介護支援専門員としての実務経験がある方**です。

**注意**

複数回更新された方でも、直近（前回）の更新を実務未経験者対象の更新研修で行った方、または再研修で介護支援専門員証を交付された方が、今回受講する場合は「初回更新」となり、本研修受講前には専門研修課程Ⅰ（又は更新研修前期）の受講修了が必要です。

### ○3回目以降の更新の方

- ・**直近（前回）の更新**を**専門研修課程Ⅱまたは実務経験者対象の更新研修（又は主任介護支援専門員更新研修）を受講修了して、介護支援専門員証を更新した方であって、その後も介護支援専門員としての実務経験がある方**です。

## 【目次】

1	研修の目的	P. 1
2	予定定員	P. 1
3	申込期限	P. 1
4	研修費用	P. 1
5	本研修の申込（受講）に必要なこと【前提条件】	P. 2
6	受講要件	P. 3
7	受講での注意事項	P. 5
8	オンライン環境の確認事項	P. 6
9	日程・プログラム（予定）	P. 7
10	事例について	P. 10
11	修了要件	P. 10
12	修了証明書について	P. 10
13	受講申込み手順	P. 10
14	その他	P. 11
15	カリキュラム	P. 12
16	お問い合わせ先・申込書送付先	P. 14

## 1. 研修の目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とします。

## 2. 予定定員 計 1000 名 各コースの定員は以下参照

※介護支援専門員証の有効期間満了日が近い方から優先して受講決定します（先着順ではありません）。

※定員超過の場合は受講をお断りし、次回以降の受講をお願いすることがあることをご了承願います。

各コース	定員
○1コース（オンライン）注1	300名
○2コース（オンライン）注1	300名
S1コース（参集）	400名

注1 オンラインコースでは○1、○2コースの希望は選択はできません。介護支援専門員証の有効期間満了日を考慮し、事務局がコースを決定させていただきます（令和6年中に満了を迎える方は優先的に○1コースに振り分けます）。

## 3. 申込期限

**令和6年7月25日（木）当日消印有効**

※必要書類を揃え、郵送にてお申し込みください（FAX 不可）。

※必ず原本をお手元にお残し下さい。

## 4. 研修費用

**32,400 円** 内訳 受講料 28,000 円＋テキスト代 4,400 円

- ① 使用テキスト 4 訂／介護支援専門員研修テキスト 専門研修課程Ⅱ  
（発行：一般社団法人日本介護支援専門員協会）※令和6年3月改訂
- ② 受講が決定した方に受講決定通知一式（研修費用の払込取扱票等）を送付いたします。



## 5. 本研修の申込（受講）に必要なこと【前提条件】

講義部分は主に動画配信（eラーニング）となります。また、個人学習（事前・事後課題）を導入することにより、研修期間や当日のオンタイム時間を短縮したプログラム構成となっています。事務局からのご連絡や研修当日までのアナウンス等も可能な限りオンラインや、メール等を活用します。このことから以下の受講環境、操作を行えることがお申込みの**前提条件**となります。

**必要**…当該コースを受講される場合は必要な作業となります。受講決定後であってもパソコン操作、オンライン作業上でのトラブル等が生じ、研修の継続が困難と主催者が判断した際は、受講を辞退していただく場合がありますことをご了承ください。

オンラインコース	参集コース	受講に必要なこと
<b>必要</b>	<b>必要</b>	<p><b>① eラーニングを視聴できる環境であること</b>                      パソコン等によってインターネットを介し事務局から配信する動画を視聴できる。  <b>eラーニングとは…主にインターネットを利用して、受講者自身が主体的に学ぶ学習形態のことです。期間内であれば自分のペースで動画を視聴等できます。</b></p>
<b>必要</b>	<b>必要</b>	<p><b>② 提出関係書類を主催者が指定する書式やソフト（Microsoft ワード、エクセル、PDF）で作成し、メールに添付して送信できること。</b></p>
<b>必要</b>	<b>必要</b>	<p><b>③ メールを使うことができ、事務局と送受信（やり取り）ができること</b>                      メールアドレスは情報の保護（漏洩防止）の観点から受講者本人専用とし、他の方との共有アドレスは不可とします。</p>
<b>必要</b>		<p><b>④ 全日程にオンラインで参加できること</b>                      ご自分の力でオンライン研修を受講できる技術と、それを取り巻くパソコン環境が準備できること</p>

## 6. 受講要件

○共通要件を**全て満たす**ことを確認し、個別要件で**申込区分**を確認してください。

専門研修課程Ⅱ、更新研修後期 共通要件 / 以下の <b>全てを満たす方</b> が対象							
共通要件	1. 介護支援専門員証の有効期間満了日が <b>令和7年12月31日までの方</b> <b>注1)</b> 2. 上記の <b>5【前提条件】</b> を満たしていること 3. 現在の介護支援専門員証の有効期間内に介護支援専門員としての実務経験があること <b>注2)</b> 4. 介護支援専門員証の登録が千葉県であること <b>注3)</b> 5. 予備日も含め全日程出席できること (*欠席、遅刻、早退は不可)。 6. 事例を提出できること ( <b>10.事例について</b> 参照) <b>注1)</b> 現在お持ちの介護支援専門員証の期間です。臨時的取り扱いの適用期間ではありません。 <b>注2)</b> 認定調査業務のみは介護支援専門員の実務とはみなされません。 <b>注3)</b> 千葉県外で介護支援専門員の登録をしている方で、県内の事業所等に勤務しており、千葉県で研修受講を希望する場合は、「受講地変更」又は「登録移転」の手続をしないと千葉県で受講することはできません。受講地変更等を希望する場合は、 <u>受講決定後に登録のある都道府県へお問い合わせ手続きを行なってください。</u>						
	<b>個別要件 ※該当する申込区分 a~d を確認してください</b>						
個別要件	※専門研修課程Ⅱ (a 又は c) と更新研修後期 (b 又は d) の <b>研修プログラムは同内容</b> です。 ※現在の就業状況、 <b>経験年数及び更新回数等</b> により申込区分が異なります。 ※現在実務に就いている方であっても、介護支援専門員としての <b>実務経験が3年未満の方</b> は更新研修後期 (b 又は d) の対象者となります。						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"><b>a</b> 専門研修課程Ⅱ (初回)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><b>C</b> 専門研修課程Ⅱ (2回目以降の方)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>共通要件を全て満たし、以下の全て</b>に該当する者</td> <td style="text-align: center;"><b>共通要件を全て満たし、以下いずれか</b>に該当する者</td> </tr> <tr> <td>           ①初回の更新であり、専門研修課程Ⅰを修了している方。            ②現在、介護支援専門員として<b>実務に就いており、実務経験が3年以上の方</b>。         </td> <td>           ①直近(前回)の更新時に専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も介護支援専門員として<b>実務に就いている方</b>。            ②3回目以降の方は、専門研修課程Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修(又は主任介護支援専門員更新研修)を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も介護支援専門員として<b>実務に就いている方</b>。         </td> </tr> </table>	<b>a</b> 専門研修課程Ⅱ (初回)	<b>C</b> 専門研修課程Ⅱ (2回目以降の方)	<b>共通要件を全て満たし、以下の全て</b> に該当する者	<b>共通要件を全て満たし、以下いずれか</b> に該当する者	①初回の更新であり、専門研修課程Ⅰを修了している方。 ②現在、介護支援専門員として <b>実務に就いており、実務経験が3年以上の方</b> 。	①直近(前回)の更新時に専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も介護支援専門員として <b>実務に就いている方</b> 。 ②3回目以降の方は、専門研修課程Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修(又は主任介護支援専門員更新研修)を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も介護支援専門員として <b>実務に就いている方</b> 。
	<b>a</b> 専門研修課程Ⅱ (初回)	<b>C</b> 専門研修課程Ⅱ (2回目以降の方)					
	<b>共通要件を全て満たし、以下の全て</b> に該当する者	<b>共通要件を全て満たし、以下いずれか</b> に該当する者					
	①初回の更新であり、専門研修課程Ⅰを修了している方。 ②現在、介護支援専門員として <b>実務に就いており、実務経験が3年以上の方</b> 。	①直近(前回)の更新時に専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も介護支援専門員として <b>実務に就いている方</b> 。 ②3回目以降の方は、専門研修課程Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修(又は主任介護支援専門員更新研修)を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も介護支援専門員として <b>実務に就いている方</b> 。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"><b>b</b> 更新研修後期 (初回)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><b>d</b> 更新研修後期 (2回目以降の方)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>共通要件を全て満たし、以下の全て</b>に該当する者</td> <td style="text-align: center;"><b>共通要件を全て満たし、以下いずれか</b>に該当する者</td> </tr> <tr> <td>           ①初回の更新であり、専門研修課程Ⅰを修了している方。            ②現在の介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務経験がある方(現在、介護支援専門員として<b>実務に就いていない方</b>)、又は現在、介護支援専門員として<b>実務に就いており、実務経験が3年未満の方</b>。         </td> <td>           ①直近(前回)の更新時に専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修を修了して介護支援専門員証を更新し、<b>更新後も実務経験がある方(現在、介護支援専門員として実務に就いていない方)</b>。            ②3回目以降の方は、専門研修課程Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修(又は主任介護支援専門員更新研修)を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も実務経験のある方(<b>現在、介護支援専門員として実務に就いていない方</b>)。         </td> </tr> </table>	<b>b</b> 更新研修後期 (初回)	<b>d</b> 更新研修後期 (2回目以降の方)	<b>共通要件を全て満たし、以下の全て</b> に該当する者	<b>共通要件を全て満たし、以下いずれか</b> に該当する者	①初回の更新であり、専門研修課程Ⅰを修了している方。 ②現在の介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務経験がある方(現在、介護支援専門員として <b>実務に就いていない方</b> )、又は現在、介護支援専門員として <b>実務に就いており、実務経験が3年未満の方</b> 。	①直近(前回)の更新時に専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修を修了して介護支援専門員証を更新し、 <b>更新後も実務経験がある方(現在、介護支援専門員として実務に就いていない方)</b> 。 ②3回目以降の方は、専門研修課程Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修(又は主任介護支援専門員更新研修)を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も実務経験のある方( <b>現在、介護支援専門員として実務に就いていない方</b> )。
	<b>b</b> 更新研修後期 (初回)	<b>d</b> 更新研修後期 (2回目以降の方)					
	<b>共通要件を全て満たし、以下の全て</b> に該当する者	<b>共通要件を全て満たし、以下いずれか</b> に該当する者					
①初回の更新であり、専門研修課程Ⅰを修了している方。 ②現在の介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務経験がある方(現在、介護支援専門員として <b>実務に就いていない方</b> )、又は現在、介護支援専門員として <b>実務に就いており、実務経験が3年未満の方</b> 。	①直近(前回)の更新時に専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修を修了して介護支援専門員証を更新し、 <b>更新後も実務経験がある方(現在、介護支援専門員として実務に就いていない方)</b> 。 ②3回目以降の方は、専門研修課程Ⅱ又は実務経験者対象の更新研修(又は主任介護支援専門員更新研修)を修了して介護支援専門員証を更新し、更新後も実務経験のある方( <b>現在、介護支援専門員として実務に就いていない方</b> )。						

**注意!!** 申込区分により添付書類も異なります。必要書類は次ページ参照。

申込研修早見表（必ずご確認ください）

5.【前提条件】を満たしている。

6.受講要件の共通要件を全て満たしている。

6.受講要件の個別要件 以下の質問に従い申込区分を確認しましょう

【更新履歴】初回更新か2回目以降の更新か  
表紙の「初回更新」と2回目以降の更新」の方考え方でご確認ください。

初回更新の方

現在の介護支援専門員証の有効期間内※に専門研修  
課程Ⅰまたは更新研修前期を受講（修了）した。  
※臨時的な取扱い期間含む

はい

介護支援専門員としての  
実務経験が3年以上ある

はい

現在、介護支援専門員  
として従事している

はい

専門研修課程Ⅱ  
初回の更新

a

更新研修後期  
初回の更新

b

いいえ

受講対象外です。  
本研修受講には、まず専門研  
修課程Ⅰまたは更新研修前期  
の受講修了が必要です。

2回目以降の方

現在、介護支援専門員と  
して従事している

はい

専門研修課程Ⅱ  
2回目以降の更新

c

更新研修後期  
2回目以降の更新

d

いいえ

申込に必要な書類		
1	受講申込書（本用紙）	必須
2	専門研修課程Ⅰ修了証明書写し	必須
3	実務未経験者対象の更新研修又は再研修の修了証明書の写し ※直近(前回)の更新で実務未経験対象の更新研修または再研修を修了して更新した方は必要です。	該当者のみ

申込に必要な書類		
1	受講申込書（本用紙）	必須
2	前回更新時に受講した研修修了証明書写し	(1) ~ (3) いずれか必須
	(1) 修了証明書 1枚の添付が良い ・更新研修前期後期	
	(2) 修了証明書 2枚の添付が必要 ・専門研修課程Ⅰ ・専門研修課程Ⅱ又は更新研修後期	
3	(3) 修了証明書 1枚の添付が良い ※更新が3回目以降の方 ・専門研修課程Ⅱ又は更新研修後期 (又は主任介護支援専門員更新研修)	

## 7. 受講での注意事項

※日程及びプログラムは **9.日程・プログラム**を参照ください。

【個人学習（事前・事後課題）とは】…研修内では**ホームワーク**と呼びます。

- ・本研修では、当日の研修時間を短縮しオンタイム当日の学びを深めるため、個人学習（事前・事後課題）があります。指定された期間内に取組み、講師や事務局が指定した方法で必ず指定期日までに提出してください。提出がないと受講の継続ができない場合があります。

【動画配信（eラーニング）とは】

- ・受講者自身が主体的に学びます。期間内であれば自分のペースで動画を視聴等できます。
- ・オンラインコース、参集コースに限らず全員がオンライン上で講義動画を視聴いただくため、視聴するための環境が必須となります。
- ・動画内で課された個人ワークや課題等の提出物等については必ず期日までに指定された方法で提出してください。提出がないと受講の継続ができない場合があります。

【オンタイムとは】

- ・指定された日時にご出席いただきます。各自の事例、ホームワーク等を持ち寄り演習を行います。

オンラインコース	Zoom 機能を使用します。
参集コース	TKP ガーデンシティ千葉（千葉市中央区問屋町 1-45）

- ・事務局や講師等から課された個人ワークや課題等の提出物等については必ず期日までに指定された方法で提出してください。提出がないと受講の継続ができない場合があります。

【その他】

- ・受講にあたってのパソコンの操作、機器の準備等は受講者自身がおこなってください。当会では、パソコンの設定、操作、インターネット環境に関するお問い合わせはお受けできません。
- ・研修で使用する配布資料等は、受講者が各自ダウンロードまたは印刷し準備していただきます。印刷に係るインク代、用紙代等の費用は受講者の負担となります。
- ・配布資料等のコピーや転載、当該研修の受講者以外に閲覧・配布等することは原則禁止します。
- ・オンタイムでは主にグループ演習を行います。参集コースのグループワークではマスク（不織布）着用をお願いします。



## 8. 【オンライン環境の確認事項】

・オンラインコースは1～6の準備が必要です。参集コースは1～2が必要（3～は準備が望ましい）。

番号	項目	内容（PC…パソコンの略）
1	インターネット環境 (通信無制限)	Zoomを使用している間は、インターネットに常時接続します。安定して接続できる環境か、通信環境を事前によく確認し対応できるようにしてください。Wi-Fiよりも有線を推奨します。
		オンライン研修により発生する通信料は受講者負担となります。これらについて当会は一切対応できません。データ使用料が大きい場合、ご利用の通信料金や契約内容をご確認ください。
2	インターネットに接続 できるパソコン	講義等の資料共有やグループ演習を行うため、スマートフォンやタブレット等での受講は不可とします。
		PCは1人1台とし、1台のPCで複数名が受講することや、1名が複数のPCや端末で受講することは禁止します。
		PCはインターネットに接続するためセキュリティ対策をしておいてください。
3	受講に使用する パソコン(推奨スペック・環境)	macOS X と macOS X (10.10) 以降 Windows 11、Windows 10（注：Windows 10 で実行されているデバイスは、Windows 10 Home、Pro、Enterprise のいずれかで実行されている必要があります。Sモードはサポートされていません） Windows 8 または 8.1 ブラウザ ➡ Windows: Edge12+、Firefox27+、Chrome30+ プロセッサおよび RAM の要件 ➡ シングルコア 1Ghz 以上～デュアルコア 2Ghz 以上 (intel i3/i5/i7 または AMD 相当)、RAM:4GB～推奨 Zoom のシステム要件については Zoom ホームページで確認してください。 <a href="https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023">https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023</a>
4	イヤホン、マイク (ヘッドセット)	研修内容が外部に漏れることを防ぐため、また、グループワークの際に周囲の音声を拾わずにお互いの音声がはっきり聞こえるように、PC に接続できるイヤホンとマイク(ヘッドセット)の使用を必須とします。特に同じ空間での複数使用の場合はヘッドセットが必須となります。
5	ウェブカメラ	受講状況の確認のため、カメラをオンにして常時顔を映して受講していただきます。PCに内蔵されていない場合は外付けのカメラが必要です。
6	受講に適切な場所	音声がよく聞こえるように静かな場所で受講してください。
		受講者以外の第三者が研修内容を視聴することはできません。
		勤務先や自宅等で受講する場合は、受講する部屋をできるだけ別室(受講者本人のみ)にし、同じ空間で複数名での参加はできるだけ避けてください。 ・ハウリング等を防ぐため。 ・受講者以外の映り込みを防ぐため。 ・グループ演習時の個人情報等の漏洩を防ぐため。



## 9. 日程・プログラム (予定)

### 01コース【オンライン】

- ・時間は進行状況により多少前後することがあります。
- ・本日現在の予定となります。カリキュラム等の変更があった場合は速やかにご連絡いたします。

※HW…ホームワーク

日程	研修日	時間	科目	開催方法
※1日目を受講する前に事前オリエンテーション動画を視聴していただきます。				動画配信
※3日目を受講する前までにZoom接続テストを行います。				Zoom
1日目	9/5(木)～ 10/3(木)	7時間	①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	動画配信 eラーニング  期間内であれば お好きな時間に 視聴できます。
			②ケアマネジメントの実践における倫理	
			③リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	
2日目		5時間 HWあり	⑤生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	
	⑩誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント			
	⑪看取り等における看護サービスの活用に関する事例			
	⑫家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント			
<b>事例作成 ※詳細は受講決定通知でお知らせします</b>				
3日目	10/5(土)	10:00～ 16:00	オリエンテーション(受講にあたって) ⑤生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ⑩誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ⑪看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ⑫家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	オンタイム グループ演習 (Zoom)
4日目	10/7(月)～ 10/31(木)	5時間 HWあり	<b>事例作成 ※詳細は受講決定通知でお知らせします</b> ⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント ⑦認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ⑨心疾患のある方のケアマネジメント	動画配信 eラーニング  期間内であれば お好きな時間に 視聴できます。
5日目	11/2(土)	10:00～ 16:30	⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント ⑦認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ⑨心疾患のある方のケアマネジメント 事例研究 オリエンテーション(研修修了にあたって)	オンタイム グループ演習 (Zoom)
予備日	11/8(金)	予備日は、研修期間中に災害等、不測の事態が生じた場合、その代替日としてこの日程に実施することがあります。実施することが決定した場合は、速やかにメールまたは当会ホームページでお伝えします。		

## O2コース【オンライン】

- ・時間は進行状況により多少前後することがあります。
- ・本日現在の予定となります。カリキュラム等の変更があった場合は速やかにご連絡いたします。

### ※HW…ホームワーク

日程	研修日	時間	科目	開催方法
※1 日目を受講する前に事前オリエンテーション動画を視聴していただきます。				動画配信
※3 日目を受講する前までに Zoom 接続テストを行います。				Zoom
1 日目	10/4(金)～ 11/2(土)	7 時間	①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	動画配信 eラーニング  期間内であれば お好きな時間に 視聴できます。
			②ケアマネジメントの実践における倫理	
			③リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	
2 日目		5 時間 HW あり	⑤生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	
	⑩誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント			
	⑪看取り等における看護サービスの活用に関する事例			
	⑫家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント			
<b>事例作成 ※詳細は受講決定通知でお知らせします</b>				
3 日目	11/6(水)	10:00～ 16:00	オリエンテーション(受講にあたって) ⑤生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ⑩誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ⑪看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ⑫家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	オンタイム グループ演習 (Zoom)
4 日目	11/8(金)～ 12/2(月)	5 時間 HW あり	<b>事例作成 ※詳細は受講決定通知でお知らせします</b>	
			⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント ⑦認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ⑨心疾患のある方のケアマネジメント	動画配信 eラーニング  期間内であれば お好きな時間に 視聴できます。
5 日目	12/4(水)	10:00～ 16:30	⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント ⑦認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ⑨心疾患のある方のケアマネジメント 事例研究 オリエンテーション(研修修了にあたって)	オンタイム グループ演習 (Zoom)
予備日	12/10(火)	予備日は、研修期間中に災害等、不測の事態が生じた場合、その代替日としてこの日程に実施することがあります。実施することが決定した場合は、速やかにメールまたは当会ホームページでお伝えします。		

## S1コース【参集】

- ・時間は進行状況により多少前後することがあります。
- ・本日現在の予定となります。カリキュラム等の変更があった場合は速やかにご連絡いたします。

### ※HW…ホームワーク

日程	研修日	時間	科目	開催方法
※1日目を受講する前に事前オリエンテーション動画を視聴していただきます。				動画配信
※3日目を受講する前までに Zoom 接続テストを行います。				Zoom
1日目	11/7(木)～ 12/5(木)	7時間	①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	動画配信 eラーニング  期間内であれば お好きな時間に 視聴できます。
			②ケアマネジメントの実践における倫理	
			③リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	
2日目		5時間 HWあり	⑤生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	
	⑩誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント			
	⑪看取り等における看護サービスの活用に関する事例			
	⑫家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント			
<b>事例作成 ※詳細は受講決定通知でお知らせします</b>				
3日目	12/11(水)	10:00～ 16:00	オリエンテーション(受講にあたって) ⑤生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ⑩誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ⑪看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ⑫家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	オンタイム グループ演習 (会場)
4日目	12/13(金)～ 1/7(火)	5時間 HWあり	<b>事例作成 ※詳細は受講決定通知でお知らせします</b> ⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント ⑦認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ⑨心疾患のある方のケアマネジメント	動画配信 eラーニング  期間内であれば お好きな時間に 視聴できます。
5日目	1/9(木)	10:00～ 16:30	⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント ⑦認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ⑨心疾患のある方のケアマネジメント 事例研究 オリエンテーション(研修修了にあたって)	オンタイム グループ演習 (会場)
予備日	1/15(水)	予備日は、研修期間中に災害等、不測の事態が生じた場合、その代替日としてこの日程に実施することがあります。実施することが決定した場合は、速やかにメールまたは当会ホームページでお伝えします。		

## 10. 事例について（本研修では2事例の提出が必要となります）

- ①本研修では各自が担当した事例から2事例を作成・提出していただきます。
  - ②事例の内容に関する事などは、受講決定時に発送予定の書類に掲載します。
- ※実務に就いていない方も事例提出が必要です。

※**実務に就いていない方**については、過去に担当していた事例から選定する、または、本研修受講のため対象者を選定して新たに作成する（他のケアマネジャーから事例の紹介を受ける場合も同様）等の場合も、個人情報保護に十分注意して受講者本人が書類を作成してください。千葉県介護支援専門員協議会では、事例対象者の紹介は行いません。

## 11. 修了要件

- ①**全日程、欠席、遅刻、早退、通信障害等による中抜け等がなく参加すること**  
 ※受講者側の通信障害等により、オンラインでの受講が確認できなくなった場合も離席（欠席）として扱われます。研修中の通信環境のトラブル等是对応できかねますのでご注意ください。
- ②**事前課題、事後課題その他主催者が提出を求める書類等の全てを提出のルールに従い、期限内に提出すること**  
 ※提出等がないと受講の継続ができない場合がありますのでご注意ください。
- ③**2事例を作成、提出すること**  
 ※詳細は今後お送りする「受講の手引き」でご確認ください。
- ④**事例検討等でのグループ演習において主催者が求める役割を担当すること**  
 ※詳細は今後お送りする「受講の手引き」でご確認ください。

## 12. 修了証明書について

- ・全日程を受講修了された方に修了証明書を発行いたします（研修最終日から概ね1ヶ月半後）。
- ・全日程の修了とは、全日程出席（欠席、遅刻、早退は不可）、事例の提出、研修中に作成する課題等の提出、研修記録シート等の提出等を含みます。
- ・更新研修後期で受講・修了した方の修了証明書も「専門研修課程Ⅱ」の表記となります。

## 13. 受講申し込み手順

申込みから研修1日目までの流れは以下の通りです。

ご案内時期			内 容
オンライン		参集	
O1	O2	S1	
～7/25 消印 有効	～7/25 消印 有効	～7/25 消印 有効	①本開催案内にて受講要件や日程等、研修の概要をご確認ください。 ② <b>5【前提条件】、6 受講要件（共通要件及び個別要件）</b> を確認し、該当する申込区分を確認してください。 ③受講申込書（全2枚）にご記入の上、必要書類（修了証明書の写し等）をそろえて申込期限までに当会事務局へ <b>郵送</b> してください。 <b>全て片面印刷</b> をお願いします。 <b>FAXでの受付はしていません。</b> ④お申込みされる方が複数いる場合には、事業所または施設でとりまとめて送付いただいてもかまいません。

8/8 頃	8/8 頃	8/8 頃	<p>⑤受講が決定した方には 8 月 8 日頃に、受講決定通知一式（研修費用の払込取扱票等）を送付いたします。定員超過などにより受講いただけない場合でも、その旨の通知を送付します。</p> <p>⑥送付先は原則自宅住所となります。申込書記載内容（送付先住所等）が変更になった場合は必ず当会へご連絡ください。</p> <p>千葉県外で介護支援専門員の登録をしている方で、県内の事業所等に勤務しており、千葉県で研修受講を希望する場合は、「受講地変更」又は「登録移転」の手続をしないと千葉県で受講することはできません。受講地変更等を希望する場合は、受講決定後に登録のある都道府県へお問い合わせ手続きを行なってください。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>受講決定通知一式に記載</td> <td>事務局が入金確認後、受講票・テキスト等を送付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オリエンテーション動画配信</td> </tr> </table>			受講決定通知一式に記載	事務局が入金確認後、受講票・テキスト等を送付		オリエンテーション動画配信
受講決定通知一式に記載	事務局が入金確認後、受講票・テキスト等を送付					
	オリエンテーション動画配信					
9/5	10/4	11/7	1 日目講義動画配信			

## 14. その他

- ①受講申込書に記載された個人情報につきましては、当会で適切に管理し、本研修以外の用途には使用いたしません。
- ②受講決定後または全日程受講終了後であっても申込書類の虚偽等により受講要件を満たしていないことが判明した場合は、受講（修了）を取り消す場合があります。
- ③受講決定後であってもパソコン操作、通信トラブル等により受講要件を満たせなくなった場合は受講を辞退していただく場合があります。
- ④研修中、講義内容と関係のない行為等が認められた場合は受講を辞退していただく場合があります。
- ⑤**特定一般教育訓練給付金制度の対象者**は、**更新研修後期（2 回目以降の方）のみ**です。  
講座の受講開始 2 週間前までに、訓練前キャリアコンサルティングを受け、ジョブカードを作成し、ハローワークにおいて、受給資格確認を行うことが必要です。詳しくは、お近くの都道府県労働局、ハローワークにお尋ねください。  
ハローワークから**受給資格確認通知**が発行され次第、当会へ FAX ください。

教育訓練講座名	指定番号
介護支援専門員 更新研修（後期・2 回目以降の者に限る）	1220210-2010023-0

## 15. カリキュラム

科目	目的	概要	時間数
介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	介護保険制度の最新の動向や地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。	介護保険制度の改正等の最新状況や地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組及び課題についての講義を行う。地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護支援専門員が果たすべき役割に関する講義を行う。利用者やその家族を支援する上で関連する最新の制度、動向及び社会資源に関する講義を行う。介護保険制度や介護支援専門員を取り巻く状況など現状で課題となっている事項に関する講義を行う。	講義 3 時間
ケアマネジメントの実践における倫理	高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等に関する動向を確認するとともに、ケアマネジメントを实践する上で感じた倫理的な課題の振り返りを行い、実践のあり方の見直しを行う。	介護支援専門員が備えるべき、利用者本位、自立支援、公正中立、人権の尊重、守秘義務、利用者のニーズの代弁等の倫理に関する講義を行う。高齢者の権利擁護や意思決定支援（認知症、身寄りのない高齢者、看取りのケース等）に関する制度等に関する講義を行う。倫理的な視点を含めたケアマネジメントの実践のあり方についての講義を行う。	講義 2 時間
リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たっての知識や関連職種との連携方法、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントについて理解する。	リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たって重要となる関連知識や歯科医師、リハビリテーション専門職等との連携方法に関する講義を行う。リハビリテーションや福祉用具等の活用を検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。	講義 2 時間
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。	「適切なケアマネジメント手法」の基本的な考え方や高齢者が有する疾患に関係なく想定される支援内容及び多職種との情報共有において必要な視点を整理した「基本ケア」について理解する。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「基本ケア」の内容を踏まえた事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。	講義・演習 2 時間
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	脳血管疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。	脳血管疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」について理解する。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している脳血管疾患がある方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。	講義・演習 3 時間



<p>ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント</p>	<p>認知症の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題の理解を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。 また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<p>認知症の要介護者等及び家族を支援するに当たり重要となる各種知識及び医療職をはじめとする多職種や地域住民との連携方法に関する講義を行う。認知症に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を理解する。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している認知症等により生活障害がある方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義・演習 4 時間</p>
<p>ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント</p>	<p>大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<p>大腿骨頸部骨折に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を理解する。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義・演習 3 時間</p>
<p>ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 心疾患のある方のケアマネジメント</p>	<p>心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<p>心疾患に特有な検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を理解する。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している心疾患を有する方のケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義・演習 3 時間</p>
<p>ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント</p>	<p>誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。 また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p>	<p>誤嚥性肺炎の予防における「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の重要性を再確認する講義を行う。誤嚥性肺炎の予防における検討の視点や想定される支援内容を整理した「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を理解する。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関する事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を踏まえ、事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義・演習 3 時間</p>



<p>ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 看取り等における看護サービスの活用に関する事例</p>	<p>看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた看護サービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>各自が担当している看護サービスを組み入れた居宅サービス計画等を持ち寄り、事例に関して分析した内容の発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。看取り等を含む看護サービスを活用するに当たって重要となる各種知識や医師、看護師等との連携方法に関する講義を行う。看取り等を含む看護サービスを検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。</p>	<p>講義・演習 3 時間</p>
<p>ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント</p>	<p>家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の特徴、関連する施策の内容や動向、対応する際の留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた家族への支援や他法他制度の活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>家族に対する支援に当たり重要となる各種知識や関係機関、地域住民をはじめとする多職種との連携方法に関する講義を行う。他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点に関する講義を行う。関連する他法他制度の内容や動向に関する講義を行う。インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う。各自が担当している家族への支援の視点や他法他制度の活用が必要な事例（居宅サービス計画等）を持ち寄り、事例に関して分析した内容の発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画等の作成における留意点を理解、再確認する。それらの留意点や必要に応じ根拠となる各種統計データを活用する等により、別の類似の事例等にも広く対応することができる知識・技術を修得する。</p>	<p>講義・演習 4 時間</p>

## 16. お問合せ先・申込書送付先

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 4-5 千葉県社会福祉センター5 階  
 NPO法人 千葉県介護支援専門員協議会  
 TEL：043-204-3631（お問合せ時間 平日 10時～17時 00分）  
 ホームページ <https://www.chiba-cmc.com/>

《申込書送付先》

- ・キリトリ線に沿って切り取り、封筒に直接貼ってご使用ください。
- ・事業所で申し込む方が複数いる場合は、とりまとめて送付していただいかまいません。申込者ごとにクリップ留めをしてください。
- ・申込人数を記載してください。

※送付先住所及び団体名の記載間違いによる不着が発生しています。手書きする際は、誤りがないか十分確認してください。

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 4-5	
千葉県社会福祉センター5 階	
<b>NPO法人 千葉県介護支援専門員協議会 事務局 行</b>	
希望するコースに <input checked="" type="checkbox"/> <b>オンライン</b>	<input type="checkbox"/> <b>・ 参集コース</b>
封筒の内容物に <input checked="" type="checkbox"/> <b>チェック</b> を記入すること	
1) 令和6年度 専門研修課程Ⅱ・更新研修後期 申込書(全2枚)	<input type="checkbox"/>
2) 修了証明書の写し	<input type="checkbox"/>
申込人数 (      名分)	